

経営比較分析表（令和元年度決算）

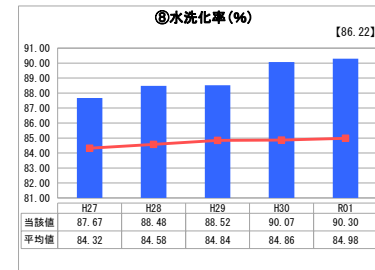
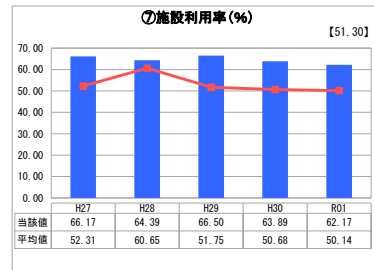
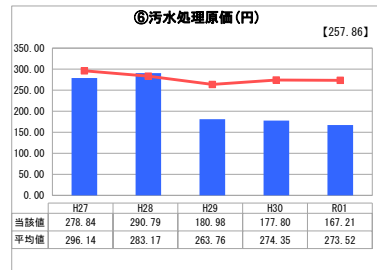
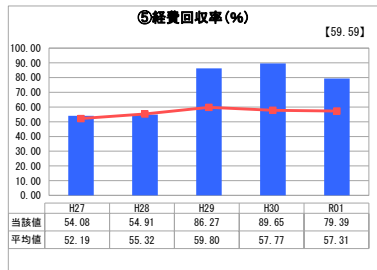
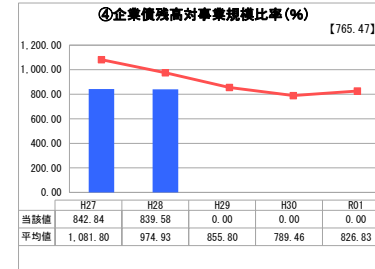
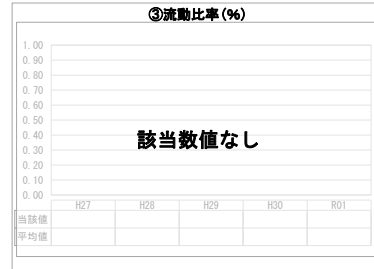
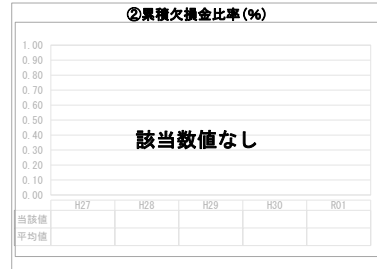
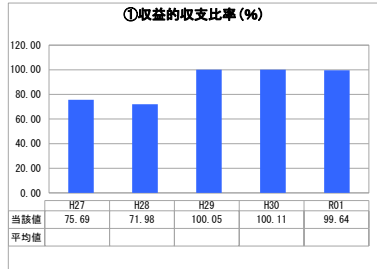
福井県 越前市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
44.80	該当数値なし	4.18	82.18	2,673

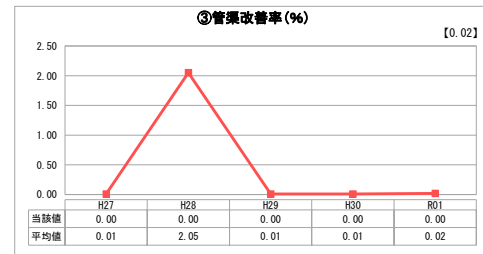
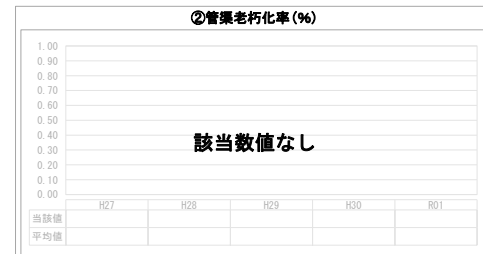
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
82,153	230.70	356.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,444	1.51	2,280.79

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成25年に全6地区で整備が完了、起債償還の完了、水洗化促進への取組みにより、①④⑥⑦⑧は前年とほぼ横ばいの状況にある。
 (R1は企業会計移行に伴う打ち切り決算を行ったため、⑤では使用料未収の影響を受け悪い値を示している。)
 ただし、①については、一般会計より基準外繰入を受けての結果であるので、さらなる経営の健全化の取組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

公営企業会計への移行が令和2年度であるため、現時点において参考となる指標はない。
 現状では、現存する管渠では最古のもので38年を経過しており、管渠手前からの雨水侵入と見られる処理効率の悪化が発生している。また、電気・機械設備においては、耐用年数を超えてなお稼働しているものが多数あることから、令和2年度中にストックマネジメント計画を策定し、適期の修繕・更新を図っていく。

全体総括

本事業は、平成25年に整備が完了した地区を除き、概ね水洗化は完了しており、今後大幅な使用料収入の増加は見込めない。
 しかしながら、今後も事業を安全に、安定的に継続していくためには、残る未接続者の切替動員(⑧の改善)による収益増加と、事後保全から予防保全への切替えにむけた財源確保が非常に重要である。
 ただし、本事業は事業規模が小さいことから、公共下水道事業などほかの4事業とともに、地元区長との連携による地域ぐるみでの水洗化促進、大口需要家への接続動員、滞納整理の強化、水道事業との業務一元化やアウトソーシング推進による経費削減経営改善に取り組む。
 また、独自の取組みとして、資産の効率的な更新と、効率的な施設の統合を視野に入れたストックマネジメント計画策定を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。